

## 江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 25 年度第 2 回 第 5 分科会（経営、企画分野）
日時	平成 25 年 10 月 21 日（月） 午後 6 時～午後 8 時
場所	江南市役所 3 階 第 4 委員会室
出席者	市民委員 太田 靖子、早瀬 裕子、粕山 光正、飯島 和代、奥村 忠、佐藤 晃、脇坂 康彦
	市職員 坪内 俊宣、武田 篤司、栗本 浩一、川田 保、菱田 幹生、大竹 誠、岩田 高志、大倉 由美子
議題	1. 前回の議事要旨について 2. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて
資料	第 1 回まちづくり会議 議事要旨

### ◆ 会議結果 ◆

#### 1. 前回の議事要旨について

- ・事務局より前回の議事要旨について説明がありました。

#### 2. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて

##### 〔柱 3〕 公平かつ適正な課税・収納

- ・資料 5、6 に基づき、委員（税務課長、同課統括幹）より説明がありました。

##### 〔個別目標①〕 市民は、公平かつ適正な課税がされていると感じている

- ・指標「返戻納付書の件数」について、平成 24 年度の実績値 13 件に対し、市から発送している納付書の総数はどれだけかとの質問がありました。担当課からは、平成 24 年度の発送件数は、個人市民税（普通徴収）で約 2 万 3 千件、固定資産税で約 3 万 8 千件、軽自動車税で約 2 万 6 千件となっている。なお、この指標において実績値として計上しているのは、別人の課税資料により課税してしまったものや、廃車済みの軽自動車に誤って課税したもの、個人市民税で特別徴収（給与天引）と普通徴収（個人納付）との区分に誤りがあったものなど、重要かつ根本的な誤りによる返戻件数であり、単純な計算ミスによるものなどは除いているとの説明がありました。
- ・また、税目別の返戻数について質問がありました。担当課からは、平成 24 年度実績で見ると、最も多かったのは軽自動車税の 8 件で、以下、個人市民税が 4 件、固定資産税が 1 件であったとの説明がありました。

##### 〔個別目標②〕 公平かつ適正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている

- ・市税の滞納はどれくらいあるのかという質問がありました。担当課からは、平成 24 年度の現年課税分で見ると、収納率が 98.2%なので、1.8%が滞納分となる。金額でいうと、調定額約 121 億 239 万円のうち、滞納額は約 2 億 1,184 万円であったとの説明がありました。
- ・いつまでも納税しない者への対応はどのようにするのかとの質問がありました。担当課からは、最終的には、財産調査を行ったうえで差し押さえをすることになるとの説明がありました。
- ・江南市の収納率は、他の自治体と比較してどの程度なのかという質問がありました。担当課からは、平成

24年度の現年課税分で見ると、愛知県内38市中35位という結果であったとの説明がありました。また、税収についても同様の質問があり、総額では名古屋市を除く県内37市中23位、1人当たりの税額で見ると同35位との説明がありました。

#### **〔柱4〕 効率的かつ円滑な事務管理の推進**

- ・資料5、6に基づき、委員（総務課長、会計室長、監査委員事務局長）より説明がありました。

#### **〔個別目標②〕 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている**

- ・指標「普通財産に占める未利用地の割合」について、現在未利用地はどれくらいあるのかという質問がありました。担当の総務課からは、市内3ヶ所に計1,249.43㎡の未利用地がある。なお、その内1ヶ所については、今年度中に布袋地区の交番用地として県に貸し付けることが決定したとの説明がありました。
- ・同指標に関して、愛北病院跡地の売却先について質問がありました。担当課からは、積水ハウス株式会社に売却した。なお、病院跡地のうち市の所有分は774.68㎡であり、その売却額は約3,624万円であったとの説明がありました。
- ・指標「歳計現金の有利子運用の割合」に関して、どのような債券に投資しているのかという質問がありました。担当の会計室からは、以前は定期預金が主であったが、ペイオフが導入されてからは数ヶ月の短期国債による運用に切り替えているとの説明がありました。また、運用にあたって何らかの基準を設けているかという質問があり、基準は特に設けていないが、歳入が市税等の納期付近に集中して入ってくるため、それを見越した上で、必要な現金が不足しないように運用しているとの説明がありました。

#### **〔柱5〕 より開かれた適切な議会運営への支援**

- ・資料5、6に基づき、委員（議事課長）より説明がありました。

#### **〔個別目標①〕 より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている**

- ・議員の地域における継続的な活動を、市（議会事務局）では把握しているのかという質問がありました。担当課からは、議員の個人的な活動については報告を受けていないので、詳細には把握していないとの説明がありました。
- ・議会のネット中継や、広報の議会関係記事が充実してきたことにより、傍聴に行けなくても議会の様子を詳しく知ることができ、非常に良いという意見がありました。

#### **〔柱全体のまちづくり評価〕**

- ・「柱全体の今後の取り組みの方向性」に、「市民との意見交換の場を設ける」とあるが、具体的にはどのように考えているのかという質問がありました。担当課からは、現在、議会基本条例の制定に向けて議会内部で検討が進められているが、その中に「議会報告会」の開催が明記される予定である。具体的な開催方法や開催場所等は今のところ未定だが、市議会の3常任委員会（建設産業、厚生文教、企画総務）が、それぞれ春と秋の年2回ずつ開催する方向で検討されているという説明がありました。

#### **分野全体を通して**

- ・江南市は住みやすく、良いところが多くあるにもかかわらず、藤まつりくらいしか市外の人には知られておらず、非常に知名度が低い。例えばB-1ご当地グルメのような特産品づくりなど、何かもっと市のアピールになることを考えなくてはならないのではという意見がありました。

